

# 中期経営計画 “Realizing Tomorrow’s Opportunities 2022”

2020～2022年度

2021年 4月27日

執行役社長兼CEO 平野 耕太郎

 日立建機株式会社

## CONNECT TOGETHER 2019

### バリューチェーンの深化

- 部品・サービス  
ConSite®
- Bradken/H-E Parts買収
- 米英：レンタル開始
- 認定中古車事業の展開

### グローバル体制再構築

海外拠点の効率化

## Realizing Tomorrow's Opportunities 2022

### バリューチェーン+ デジタルソリューション深化

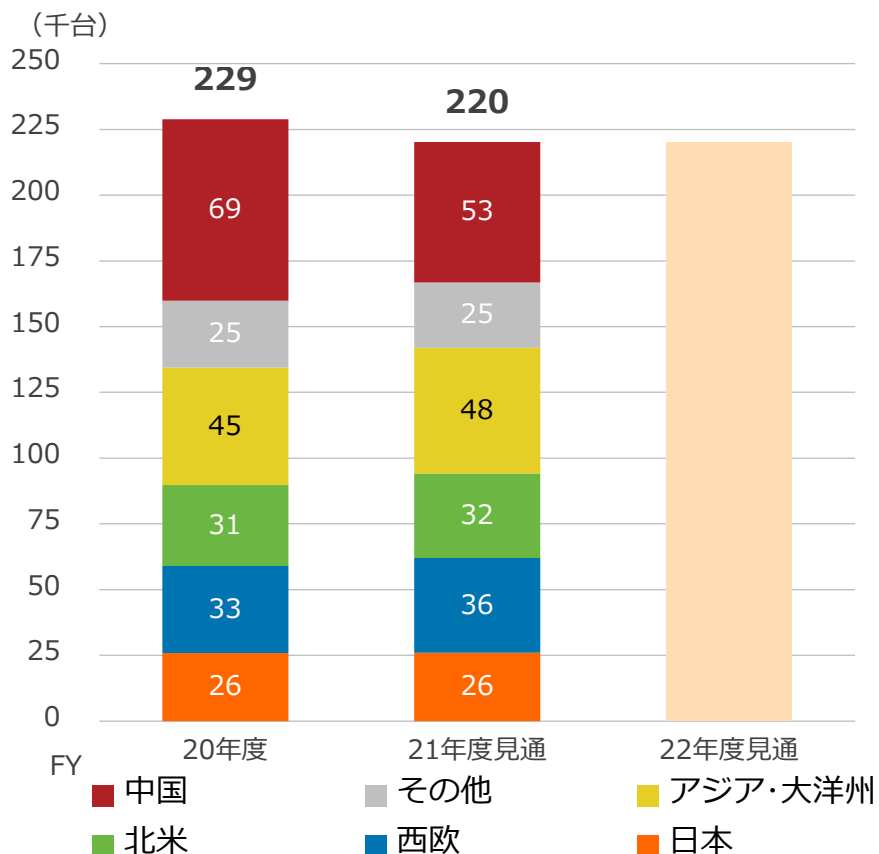
- 部品・サービス  
ConSite®  
部品再生  
Bradken/H-E Parts
- デジタルマイニング
- レンタル+中古車→グローバル展開

### 開発マーケティング・生産の効率化

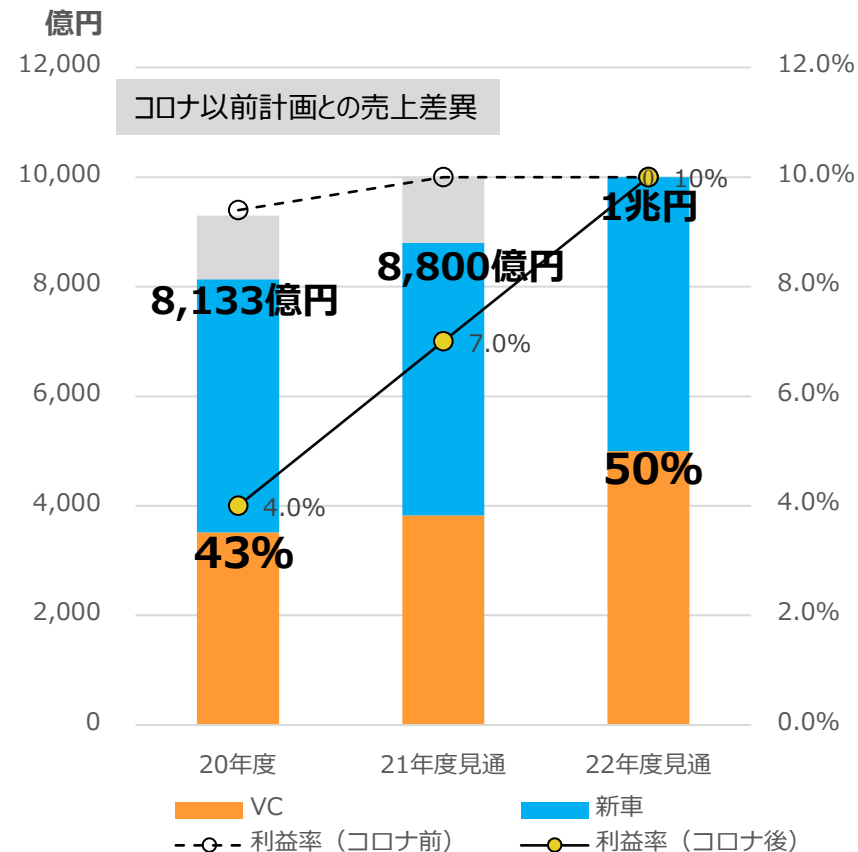
グローバル連携

新型コロナウイルスの影響などにより、2020年度は業績が悪化  
中国以外の市況の本格回復は2021年度後半以降になる見込み  
業績はバリューチェーンの拡大とソリューションの深化により向上

## 油圧ショベル需要



## 売上収益と調整後利益率



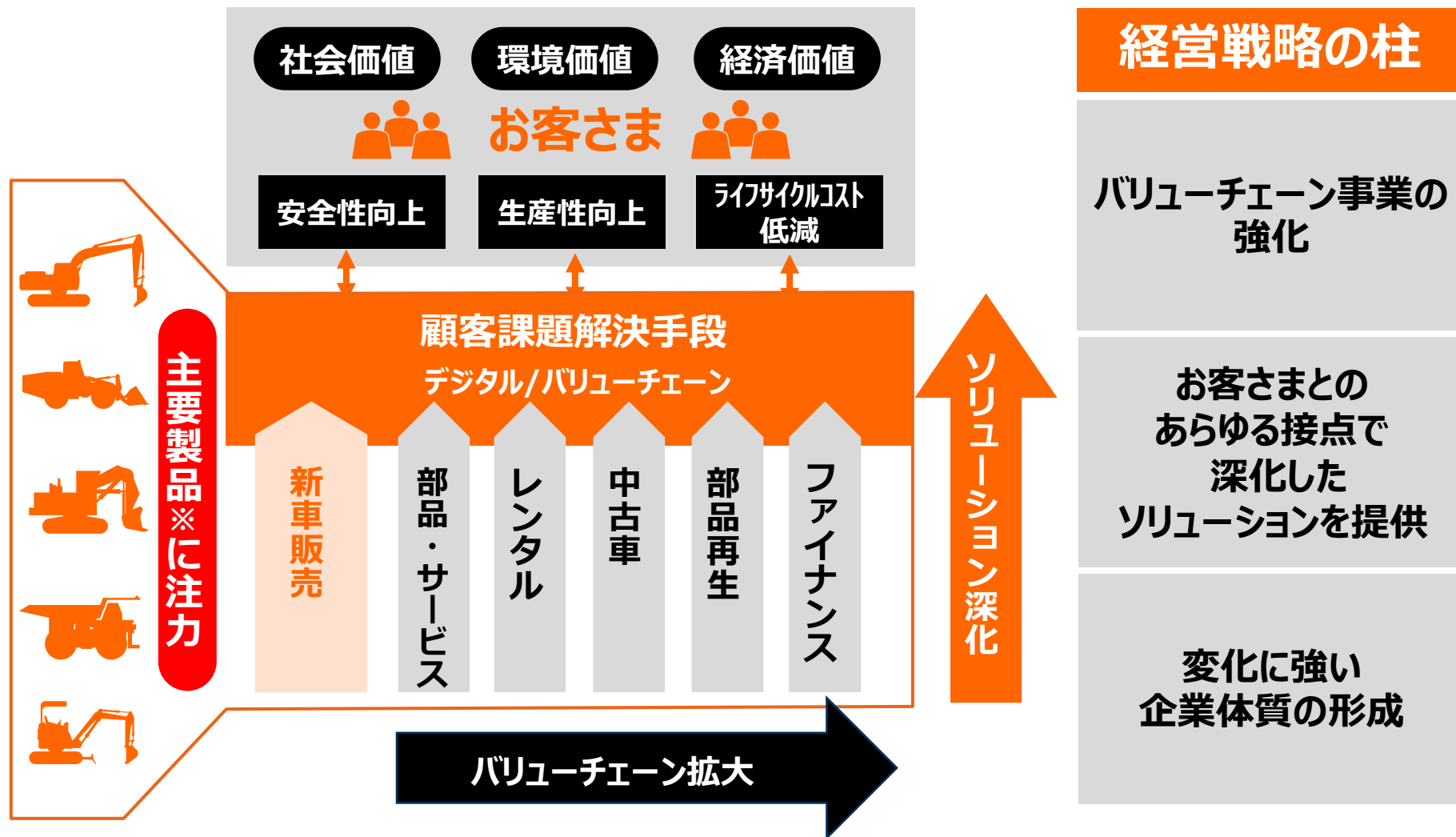
## グローバル拠点再編は ほぼ完了。国内生産・開発拠点再編を展開中

|          | 当初計画           | 見直し計画                              |
|----------|----------------|------------------------------------|
| 投資計画     | 22年度までに420億を投資 | 27年度までに500億を投資<br>土浦工場と龍ヶ崎工場の機能見直し |
| 生産関係利益効果 | 60億円／年         |                                    |

## 協調型建機開発や脱CO2に向けた技術開発の推進加速

日本・欧州・北米拠点開発＋オープンイノベーションで売上高研究開発費率を4%へ

|              | 主な研究開発テーマ                                                                                                                   |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人と機械の協調制御実現  | <ul style="list-style-type: none"><li>・「協調安全」と高度な自律運転を両立するシステムプラットフォーム「ZCORE」</li><li>・運転支援システム</li><li>・サイトセーフティ</li></ul> |
| 脱CO2に向けた取り組み | <ul style="list-style-type: none"><li>・バッテリー・燃料電池・水素など新しい駆動システム</li><li>・「ネット・ゼロ・エミッション」に向けた新技術開発</li></ul>                 |



# バリューチェーン事業の強化（レンタル・中古車）

社会価値

ライフサイクルコスト低減

HITACHI

Reliable solutions

- データ活用し良質なレンタル機で差別化、グローバルに提供
- 保証付き・整備済みのブランド中古車として展開

12 年  
つくる責任  
つかう責任



## 各地でレンタル事業を展開

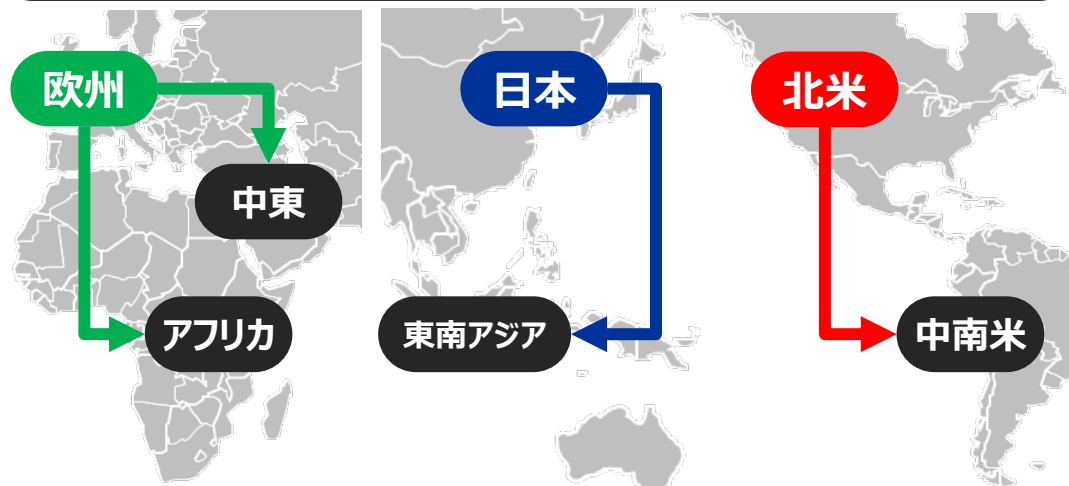


データ活用で  
適切にメンテナンス

## ブランド付きの中古車に



## 良質なレンタル機を中古車として世界中に流通



## 中古車事業 売上収益の拡大

2022年度

中古車  
280%

2010年度比

2030年度

地域のニーズに合った  
製品・サービスの普及

- ConSiteメニューでサービス拡充、顧客タッチポイント増加
- さまざまな部品ブランドで、サービス部品の選択肢を増やす
- トレーサビリティを強化し、部品流通をさらに効率化

12 つくる責任  
つかう責任



## ConSiteメニューでサービス拡充



トレーサビリティ強化  
部品流通の効率化

## さまざまな部品ブランドからの選択が可能

Hitachi Construction Machinery

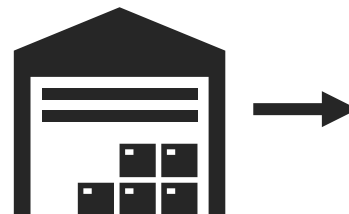
GENUINE PARTS

Hitachi Construction Machinery

REMANUFACTURED

Hitachi Construction Machinery

SELECTED PARTS



## 部品再生事業 売上収益の拡大

2022年度

部品再生  
420%

2010年度比

2030年度

地域のニーズに合った  
製品・サービスの普及

## ライフサイクルコストの低減

2022年度

ConSite®  
普及率 90%

2030年度

ダウンタイム  
「ゼロ」をめざして

協調型建設機械と運転支援システム、各種ソリューションで  
現場全体の安全性を高め「人と機械の最適な関係」の実現をめざす



## 協調型建設機械

- 「協調安全」と高度な自律運転を両立するシステムプラットフォーム「ZCORE」を開発



## 運転支援システム

- 周囲認識と自動ブレーキ
- 掘削状況判断や自動積込
- オペレータの状態監視



## サイトセーフティ

- 現場の安全管理やリスク分析
- 災害情報との連携、危険予知

当社製品に起因の事故低減機能の搭載

2022年度

2030年度

人と機械の  
協調制御実現

転倒・死亡事故  
「ゼロ」への貢献



## 脱CO2に向けた長期的な取り組み



### コンパクト

#### バッテリー駆動

- 8tクラスは2020年に25台受注、2021年の目標は50台
- 5tクラスは評価試験中、2021年度中に日欧で発売予定



欧州で市販開始



市場にて評価試験中

### コンストラクション

#### 燃料電池駆動

#### 水素エンジン駆動

➡ 研究機関・大学、パートナー企業と連携

### マイニング

#### ABB連携

#### 鉱山オール電化

#### 鉱山全体の効率化



ABBの推進するデジタル鉱山



- ABB電動インフラとともにトロリー式を拡販
- 機械にABBデジタルソリューションを適用

### 製品からのCO<sub>2</sub>削減

2022年度

▲ 20%

2010年度比

2030年度

▲ 33%

## Realizing Tomorrow's Opportunities・明日の好機をつかみ取れ

|                 | 経営指標                 | 前中計<br>2019年度実績                                 | 今中計<br>2022目標値                              |
|-----------------|----------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 成長性             | ・売上収益<br>・バリューチェーン比率 | ・9313億円<br>・40%                                 | ・1兆円<br>・50%                                |
| 収益性             | 調整後利益率               | 8.2%                                            | 10%以上                                       |
| 安全性             | ネットD/Eレシオ            | 0.58                                            | 0.5以下                                       |
| 効率性             | ROE                  | 8.6%                                            | 10%以上                                       |
| ESG<br>*2010年度比 | 社会価値<br>環境価値<br>経済価値 | ConSite普及率 73%<br>部品再生売上 296%*<br>製品CO2 △15.9%* | ConSite普及率90%<br>部品再生売上420%*<br>製品CO2 △20%* |
| 株主還元            | 配当性向                 | 31%                                             | 30%<br>もしくはそれ以上                             |

日立建機グループでは、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のうち、10項目の重点目標を設定しています。  
当資料内のトピックスはこの区分に該当するアイコンを表記し、紹介しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

日立建機グループ中期経営計画

HITACHI

Reliable solutions

# Realizing Tomorrow's Opportunities 2022

明日の好機をつかみとれ



バリューチェーンソリューションによる  
顧客価値の向上



顧客課題を解決する  
ソリューションの提供



変化への挑戦

安全と健康とコンプライアンス第一 | PDCA サイクルの徹底 | Kenkijin スピリットの発揮

**【見通しに関する注記事項】**

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

**END****お問い合わせ** **日立建機株式会社****ブランド・コミュニケーション本部**